ひかり

光

JA東旭川だより

TOPICS

ファーマー通信 vol.38
「消防士からの転身」飯村（いいむら） 理（おさむ）さん ②
農協法公布記念日にあたって ③
役員研修報告 ④
年末年始営業時間のご案内 ⑤

No.277
2025.11.25

ファーマー通信 38
Farmer's Communication

「消防士からの転身」

西・本町農事組合　飯村（いいむら） 理（おさむ）さん

今回は西・本町農事組合の飯村 理さんをご紹介致します。飯村さんは高校を卒業後、消防職員として約41年間勤務されました。経営面積が多くなかったこともあり、専業農家として経営するには難しいと考えていたため農家を継ぐ予定はありませんでしたが、定年退職を迎えたことをきっかけに両親の農業を手伝い始め、農業のやりがいや魅力を再認識し、就農されました。

以前は水稲や畑作、花きを生産されていましたが、現在は水稲単一経営をされております。

今回は飯村さんにいろいろお話を伺いました。

Q 農業のこだわりは何ですか？

Ⓐ 肥料設計に特にこだわっています。父が普及員だったので、肥料の計算方法等は教わりましたが、稲を見て翌年の肥料の量を考えています。そのおかげか毎年安定した収量を保つことができています。

Q 辛かったことはなんですか？

Ⓐ 毎年春作業が特に大変です。ビニール掛けから田植えまでの期間は力作業も多く、天気の影響を受けやすいので、毎年工夫して乗り切っています。馬にけん引させていた頃や、苗を手で植えていた時代を振り返ると、今の農作業はずいぶんと効率的になり、体の負担も軽くなったと思います。

Q 趣味は何ですか？

Ⓐ 釣りです。子どもの頃は近くの川でウグイ等を釣って遊んでいました。今年もカレイやタラを狙って道東まで行きました。

Q 今後の目標はなんですか？

Ⓐ 目標は現状維持です。80歳まで続けることが目標でしたが、いよいよその年齢が近づいてきました。まだ体も動くので、これからも自分の体と相談しながら、できる限り農業を続けていきたいと思っています。

農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから78年が経過しました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢献してきました。

一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本の農政は大きな転換点を迎えています。

JAグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に定めました。

この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心で豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、JAグループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

役員研修報告

10月28日、役職員12名にて役員研修を実施しましたので、
概要について、下記のとおりご報告致します。

ひがしかわライスターミナル

隣町のＪＡひがしかわにて、東川町の農業についてお話を伺った後、ひがしかわライスターミナル機能性精米工場を視察しました。

ひがしかわライスターミナルは令和４年に着工し、令和６年６月に機能性精米工場、令和７年９月に米穀乾燥調製貯蔵施設がそれぞれ竣工されました。

世界初導入となる「高度衛生良質米製法ライン」を活用し、食味低下や品質劣化を防止し、「機能性健康米製法ライン」によって、従来の白米よりも高い栄養価を保持するなど、独自製法によって地域ブランド力の向上に取り組んでおられます。

意見交換会では、基盤整備事業やライスターミナル建設に至るまでのお話を伺い、積極的な情報交換もでき、有意義な研修となりました。

ＪＡ上川生産連　穀類種子調製施設「WHEANS BASE」

美瑛町にあるＪＡ上川生産連 穀類種子調製施設「WHEANS BASE」にて、畑作物の種子についてお話を伺った後、調製施設内を視察してきました。

施設名の「WHEANS BASE」は、「WHEAT（麦）」と「BEANS（豆）」を組み合わせた造語「WHEANS」に、「BASE（土台・基礎）」を加えた名称です。この名前には「農業経営の基礎」として大きな役割を担う種子生産施設でありたいという想いを込められております。

調製ラインの中には最新鋭の機械や設備を取り揃えており、良質な種子の安定供給につながる体制が整っていました。

留萌港小麦集出荷貯蔵施設（小麦サイロ）

留萌市にある留萌港小麦集出荷貯蔵施設にて、「小麦の物流」についてお話を伺いました。

留萌港小麦集出荷貯蔵施設（小麦サイロ）は、道内の日本海側で唯一使用されていた旧小麦倉庫の老朽化等もあり、2024年５月に着工し、2025年７月に竣工されました。

保管容量は3,000トン（500トン×６基）となり、貨物船２隻分を保管できることによって年間取扱量は旧施設と比べて約３倍の3.6万トンを計画しており、留萌港背後圏域（上川・留萌・北空知）で生産される小麦を重点的に船積み輸送する事により北海道産小麦全体の円滑な流通に寄与することが期待されております。

年末年始営業時間のご案内

		令和７年12月			令和８年１月			
		29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)～3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)～
本所	企画課・管理課	平常営業	休業	休業	休業	休業	休業	平常営業
本所	金融・貯金・共済窓口	平常営業	平常営業	休業	休業	休業	平常営業	平常営業
本所	キャッシュコーナー	平常営業	平常営業	休業	休業	休業	平常営業	平常営業
本所	営農販売課	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常営業
本所	生産資材センター	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常営業
本所	給油所 セルフ	平常営業	平常営業	8:30～16:00	休業	平常営業	平常営業	平常営業
本所	給油所 フル	平常営業	平常営業	8:30～16:00	休業	平常営業	平常営業	平常営業
本所	給油所 洗車	平常営業	平常営業	8:30～15:00	休業	平常営業	平常営業	平常営業
本所	給油所 ピット作業	平常営業	平常営業	休業	休業	平常営業	平常営業	平常営業
豊田支所	金融・貯金・共済窓口	平常営業	平常営業	休業	休業	休業	平常営業	平常営業
豊田支所	給油所・購買店舗	平常営業	休業	休業	休業	休業	平常営業	平常営業

※　自動車事故受付（24時間受付）夜間・休日はフリーダイヤル 0120－258－931
※　葬　祭（24時間受付）　☎76－2815

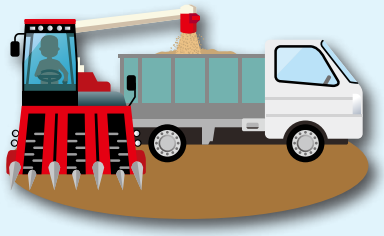
万一の事故に備えて
労災保険に加入しましょう！

当JAでは２種類の労災保険に加入することができます。

特定農作業従事者　（経営者ご本人・家族従事者が加入できる労災）

【加入条件】次の①～③の全てに該当する方です。

① 「年間の農業生産物の総販売額が300万円以上」または「耕作面積が２ヘクタール以上」
② 土地の耕作、植物の栽培・採取、家畜の飼育の作業のいずれかを行う農業者
③ 次のア～オまでのいずれかの作業に従事する農業者
　ア トラクターなどの農業機械を使用する作業
　イ ２メートル以上の高所での作業
　ウ サイロ、むろ等の酸欠危機のある作業
　エ 農薬散布
　オ 牛・馬・豚に接触する作業



中小事業主等　（雇用している労働者と事業主が加入できる労災）

【加入条件】常時300人以下の労働者を使用する事業主とその労働者
（事業主とは経営者・その家族、法人にあっては役員のことをいいます（特別加入））

労災保険に関するお問い合わせ・ご相談は　企画課　☎36-2111まで

理事会の経過

第８回理事会

開催日　令和７年９月22日

決議事項

1　出資の減口・譲渡について
2　固定資産の取得について

協議報告事項

1　監事の監査報告について
2　組合員の加入・脱退の状況について
3　理事に対する資金の貸付に係る報告について
4　営業時間の変更について
5　各課・支所の事業推進報告について

第９回理事会

開催日　令和７年10月23日

決議事項

1　出資の減口・譲渡について
2　貸付金の査定について
3　組合と理事との契約について
4　令和７年産屑米の仮渡金について
5　令和７年産消費者契約栽培米（ふるさと屯田米）の仮渡金について

協議報告事項

1　監事の監査報告について
2　組合員の加入・脱退の状況について
3　内部監査実施報告について
4　貸付金の実行報告について
5　大型クロバー貯金の積立（第２年度）について
6　令和７年産米の出荷状況並びに色彩選別処理状況について
7　豊田支所の閉店に向けて
8　共済・貯金の推進状況について
9　役員研修について
10　各課・支所の事業推進報告について

行事経過と予定

11　月

17～19日　みのり監査法人監査
25～28日　自治監査
26日　理事会
27～29日　組合員宅巡回訪問

12　月

2～4日　巡回ドック健診
9日　役員協議会
18～19日　座談会
25日　理事会・役員協議会
25～27日　組合員宅巡回訪問

パレット返却のお願い

肥料の早期取りまとめ・お引き取りにご協力をいただきありがとうございます。

当ＪＡで配送等に使用しているパレットが不足しておりますので、庭先に空きパレットがございましたら、生産資材課までご連絡をお願い致します。

道栄パレット

リースパレット・生産資材課パレット

お問い合わせ先：生産資材課　☎36-6031

知って得する！

農業者年金 オンラインセミナー

アーカイブ動画配信中

▼ これまでのセミナー

第１回
テーマ
「ほったらかし・低リスク投資で老後の資産形成
大きな税制優遇措置もある」

ポイント
農業者年金の基本について解説

第２回
テーマ
「農業者年金とiDeCoの違い　徹底解説」

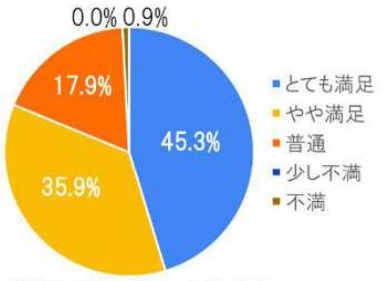
ポイント
他の制度との違いについて解説

第3回
テーマ
「自分らしく輝き続けよう！」

ポイント
農業者年金の年金額を中心に解説

◆ 参加者のセミナーに対する評価

８割以上の方々が満足とお答えしています。



※第３回セミナーアンケート結果より

▼ 今後の開催予定

◆ 第４回：令和７年12月９日（火）

◆ 第５回：令和８年２月頃を予定

※ 開催が決定次第、以下のWebページで開催情報を公開します。適宜ご確認ください。

アーカイブ動画・開催情報はこちら

◆ 独立行政法人農業者年金基金Web（オンラインセミナー特設ページ）
URL：https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html

独立行政法人
農業者年金基金

お問い合わせ先　企画課　☏36-2111

みんなの広場

※ JICA（ジャイカ）とは、独立行政法人国際協力機構の略称で日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、発展途上国への国際協力を行っている組織です。

JICA研修生がペーパン農事組合 福嶋さんの加工場で研修を行いました。

JICA の農業支援活動の一環で、「農民参加による農業農村開発」をテーマにアフリカの６か国から研修生が参加し、道内の農業関連施設等で研修を行っており、東旭川ではペーパン農事組合 福嶋 真理さんの加工場で研修を行いました。トマトの収穫からトマトジュース加工体験を行い皆さん真剣に取り組んでいました。

みんなの広場 取材先募集中 !!

ＪＡだより「光－ひかり－」ではみんなの広場に掲載する取材先を募集中です。

東旭川地域のちょっとした「アレコレ」気がついたことがあればお気軽にご連絡ください。ＪＡだより編集委員が取材にまいります。もちろんご自分で取られた写真なども同時に受付しております。

情報提供いただいた方には加工品等をプレゼント！

連絡先・お問い合せ先

郵　送：旭川市東旭川南１条５丁目 8-22
東旭川農業協同組合
ＪＡだより編集委員　宛
電　話：36-2111（企画課）
メール：kikaku@ja-higashiasahikawa.net

編　集　後　記

いつもＪＡだより「光－ひかり－」をご愛読いただきありがとうございます。

今年も残すところあと１ヵ月となりました。来年で当ＪＡに勤めて４年目と、一年の早さを身に染みて実感しております。寒さも本格的になってきましたので、組合員の皆様におかれましても、お体にお気を付けてください。

今年のＪＡだよりの発刊は今月号で最後になります。今年もありがとうございました。また来年も面白い、読みたいと思わせられるようなＪＡだよりをお届けできるよう努めてまいりますので、今後ともＪＡだより「光－ひかり－」をよろしくお願いいたします。

（大海寺）

企画・発行　東旭川農業協同組合
発行責任者　畑山義裕
印刷　㈱総北海